

出来形管理基準及び規格値の一部訂正について（令和元年5月）

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

| 訂正前（対象箇所のみ記載） | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|----|----|---|------|------------|---|---------|---------|---|---|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工 種 | 測定項目 | 規 格 値 | | 測 定 基 準 | 測 定 箇 所 | 摘 要 | |
| | | | | | | | 個々の測定値 (X) | 平均の測定値 (X ₁₀) ※面管理の場合は測定値の平均 | | | | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 4 | コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 6 | コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 8 | コンクリート舗装工 (アスファルト中間層) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 10 | コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工) (面管理の場合) | 平坦性 | - | 3m ² プロファイル (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下 | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 14 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 16 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 18 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 20 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) (面管理の場合) | 平坦性 | - | 3m ² プロファイル (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下 | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 |
| | | | | | | | | | | | | |

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

| 訂正後（対象箇所のみ記載） | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---|----|----|---|------|------------|---|---------|---------|--|--|
| 編 | 章 | 節 | 条 | 枝番 | 工 種 | 測定項目 | 規 格 値 | | 測 定 基 準 | 測 定 箇 所 | 摘 要 | |
| | | | | | | | 個々の測定値 (X) | 平均の測定値 (X ₁₀) ※面管理の場合は測定値の平均 | | | | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 4 | コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 6 | コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青)安定処理工) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 8 | コンクリート舗装工 (アスファルト中間層) (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 10 | コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工) (面管理の場合) | 平坦性 | - | コンクリートの硬化後 3m ² プロファイルにより 機械舗設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下 | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 目地段差 | | ±2 | | | 隣接する各目地に対して、道路中心線及び端部で測定。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 14 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 16 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 18 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) アスファルト中間層 (面管理の場合) | | | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 | |
| 3 | 2 | 6 | 12 | 20 | コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) (面管理の場合) | 平坦性 | - | 転圧コンクリートの硬化後 3m ² プロファイルにより (σ)2.4mm以下 | | | | 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。 |
| | | | | | | | | | | | | |